



第 42 回製剤と粒子設計シンポジウム

参加募集・プログラム

第 42 回製剤と粒子設計シンポジウムを下記の要領で開催します。展示、講演を効率よく進行できるワンフロア一開催が可能なおことから、新潟朱鷺メッセでの開催を企画しました。例年通り、多くの講演、パネル展示応募をいただいています。学術賞、技術賞の記念講演等を含むバラエティに富んだプログラム内容となっており、初日夕刻には交流会も開催します。奮ってご参加いただきますようご案内します。

開催日時 令和 7 年 10 月 30 (木) ・ 31 日 (金) 9 : 00 ~ 開場 9 : 45 ~ 開会

会場 朱鷺メッセ (新潟コンベンションセンター) 2 F
〒950-0078 新潟市中央区万代島 6 番 1 号
TEL.025-246-8400 FAX.025-246-8411

主催 (一社)粉体工学会・製剤と粒子設計部会
共催 (一社)日本粉体工業技術協会・粒子加工技術分科会
企画 (一社)粉体工学会・製剤と粒子設計部会
(一社)日本粉体工業技術協会・粒子加工技術分科会

テーマ ① 新製剤技術
② 粒子設計のための素材、製剤プロセス
③ 粒子物性の計測と評価

参加費 主催・共催学協会員 (協賛学協会員は非会員扱いとなります) 33,000円
大学・公立研究機関関係 16,500円
学生 8,800円
非会員 55,000円

※ 参加費には、昼食 (弁当) 代、交流会費を含みます (宿泊費は含まれません)

※ パネルディスカッションについては、参加費の他に下記の展示料が必要です

主催・共催学協会員 121,000円
〃 以外 187,000円

※すべての参加費には消費税が含まれています (登録番号 T4130005015191)

定員 320 名

ホームページ (<http://ppd-gifu.com>) の参加受付よりお申し込みください

申込方法 今回は EVENTResist 社によるシステムで、お申込みからお支払いまでオンライン上でできるようになっておりますが、もし銀行振り込みをご希望される場合は、事務局までご連絡をお願い致します。

申込締切 令和 7 年 10 月 17 日 (金)
それ以降のお申込みは、事務局に直接お問い合わせ下さい。
※定員に達し次第申し込みを締め切らせていただきます。

問合せ先 〒502-8585 岐阜市三田洞東 5-6-1 TEL : (058)237-8572/080-9490-0689
岐阜薬科大学内 製剤と粒子設計部会事務局 担当 : 松井
E-Mail : ppd.gifu@gmail.com または matsui-to@gifu-pu.ac.jp

-講演プログラム-

第1日目 10月30日(木)

9:45-9:50

開会の辞

製剤と粒子設計部会 部会長 竹内洋文

9:50-10:15

パネルディスカッション <新製品・新技術セッション>

1. 新規賦形剤 BioSustane NF による難水溶性 API の溶解性向上と経口バイオアベイラビリティを改善するための非晶質固体分散系の紹介
(島貿易) 山脇加名子
2. 噴霧凍結乾燥装置の開発 ～バッチ式から連続式まで～
(大川原化工機) 根本源太郎
3. Nanoforming : ASD に代わる、より優れた服用性と安定性を備えたナノ結晶製剤の新展開
(CBC) 横浜重晴
4. 最新の粒子径測定装置の紹介
(アントンパール・ジャパン) 高木則一
5. 薬剤向け粒子・粉体 A I 画像解析ソフト「AIPAS」による物性測定の可視化
(BLUE TAG) 渋谷純一

10:15-12:30

パネルディスカッション <パネル口演及び展示>

【新製剤技術】

6. 打錠用 新規 All-in-One 添加剤 (開発段階品) のご紹介
(フロイント産業) 阿井敬佑
7. JRS Pharma の新コプロセス添加剤 PROSOLV 730
(レッテンマイヤー・ジャパン) 高橋 真
8. 医薬品業界向けロスインウェイトフィーダのご紹介
(クボタ) 宮原 聡
9. 連続生産システム「LaVortex®」の紹介
(アーステクニカ) 小柳敬太
10. 乾式コーティング装置ノビルタの紹介
(ホソカワミクロン) 高森陽平
11. バーチャマニュファクチャリングの世界
(シーメンス) 中田昌彰

【粒子設計のための素材、製剤プロセス】

12. コプロセス添加剤 FujiTab®DC のご紹介
(富士化学工業) 宮田慶亮
13. 「MicroceLac® Plus」のご紹介
(メグレ・ジャパン) 白木香菜美
14. Starch 1500®の水分除去特性の熱分析評価
(日本カラコン) 石川 宏
15. 高速攪拌造粒プロセスにおける内添加賦形剤の QbD アプローチ:セオラス™UF グレード
(旭化成) 小川莉子
16. 溶解性改善基剤としての NISSO HPC 適用事例
(日本曹達) 亀ヶ谷直幸
17. 機能的添加剤によるバイオアベイラビリティの向上

(メルク) 好池崇征

18. 徐放性錠剤向け親水性マトリクスポリマーの開発
(三菱ケミカル) 谷口 豊
19. 連続生産における galenIQ® (イソマル水和物) の粉体物性の優位性
(樋口商会) 松田裕介
20. PVA 新グレードと用途のご紹介
(日本酢ビ・ポパール) 金森真由
21. ニトロソアミン対策における Kollidon® CL NT と ZoomLab® の活用について
(BASF ジャパン) 平手心一
22. 医薬・サプリメントに応用可能な においマスキングコーティング
(信越化学工業) 東浦 涼
23. GRACE 社製医薬品添加剤のご紹介
(日曹商事) 大塩達也
24. ニトロソアミン類: 添加剤による製剤リスクの軽減
(DFE ファーマ) 李 鑫鵬
25. EUDRACAP®: 機能性コーティングを施した Ready-to-Fill カプセル
(エボニックジャパン) 笠場将太
26. BASF の添加剤ポートフォリオのご紹介
(BASF ジャパン) 佐野 翼
27. 経皮吸収製剤用アクリル系ポリマー「ディアフィット」の粘着物性と薬物放出性の特徴
(大同化成工業) 池永達哉
28. 空気流制御による種々の粉末デバイスへのアプローチ
(トキコシステムソリューションズ) 堀越清良
29. Three-Tec 社製 2 軸エクストルuder と前後段装置群による連続製剤技術の紹介
(奈良機械製作所) 栗原光輝
30. 封じ込め粉碎機のご紹介
(ダルトン) 杉本繁之
31. シンテゴン製連続生産機「Xelum」と、コアとなる造粒技術のご説明
(シンテゴンテクノロジー) 大内拓也
32. TACT による終点予測とサンプリング自動化
(フロイント産業) 大島友一
33. 固形製剤向け アイリッヒ クリーンライン C400 型 / 微小球形顆粒の造粒事例
(日本アイリッヒ) 片山季咲
34. ミニタブレットの打錠技術
(菊水製作所) 伊藤大陽
35. 噴霧 (滴下) 凍結乾燥のアニーリング検討
(パウレック) 久世純子
36. OSDrC® 技術が実現する多様な新製剤開発モデルのご紹介
(三和化学研究所) 高橋哲朗
37. 医薬品原薬のマイクロカプセル化技術
(理研ビタミン) 庄司哲朗

【粒子物性の計測と評価】

38. フリーズドライ顕微鏡システムと水蒸気吸着測定装置 E シリーズによる医薬品の物性評価

(イーストコア) 東城守夫

39. 打錠過程データ収録システム

(岡田精工) 湯川十三

40. 粉体の力×製剤設計 粉体物性、吸入製剤粒子径の最新評価技術

(三洋貿易) 谷川和美

41. 次世代医薬開発・プロセス革新のための弊社製品でのアプローチ

(日本サイエンスコア) 林 修平

42. 粉体・流体シミュレーションソフトウェア 「iGRAF (アイグラフ)」を活用した混合プロセス評価

(構造計画研究所) 塚田祐也

パネルディスカッション〈展示のみ〉

43. バイオ医薬品におけるスプレードライ技術

(ホビオン) 白田 靖

44. OPC 通信規格を用いたベンダーフリーなデータ統合システム構築事例

(クオリティデザイン) 住友 薫

45. ロケット社 D-マニトール製品のご紹介

(ロケットジャパン) 朝田久仁子

46. Oral Thin Film—独自フィルム製剤化技術と CDMO サービス—

(NISSHA ゾンネボード製薬) 秋田真哉

47. 未定

(ミューチュアル) 高田龍基

12:30-14:00

休憩・パネル討論 (90 分)

14:00-16:00

奨励賞対象講演

1. 生産機スケールを目指した乾式複合化装置による原薬球形化処理のスケールアップ

(ホソカワミクロン) 花市祐介

2. 攪拌造粒法及び流動層造粒法による固体分散体の製造

(信越化学工業) 山口晃平

3. 固体 NMR を用いた類縁体混合による felodipine 結晶化抑制機構の解明

(千葉大院薬) 菅原日向

4. 攪拌容器回転型ミキサーによる微小球形顆粒の調製

(日本アイリッヒ) 加藤 花

5. メカノフュージョン技術によるアミノ酸球形粒子及びその苦味マスキング粒子の設計

(味の素) 宮本正悟

6. 粉体特性とサポートベクターマシンを用いた打錠障害予測

(杏林製薬) 佐藤 翼

7. 打錠障害の発生予測モデル構築に向けた錠剤内部の応力分布測定

(大阪公立大) 久保田一成

8. 真空ロータリーキルンによる固形製剤の乾燥効率化に関する研究

(高砂工業・岐阜薬科大) 福島柚佳

9. SEM-EDX を用いた滑沢剤の分散状態の定量化技術の開発

(武田薬品工業) 鈴木孝明

16:00-16:30

休憩およびパネル討論 (30 分)

16:30-18:00

10. エゼロス配合錠「サワイ」の製剤設計

(沢井製薬) 古田秀明

11. 攪拌容器回転型ミキサーを用いた MADG 法による口腔内崩壊錠の製剤設計
(星薬科大) 村上いちご
12. 堆積物を形成する錠剤の吸収性評価に適した溶出試験方法に関する検討
(名古屋市大院・小野薬品工業) 寺島花野
13. 経口ペプチド送達用 core-shell 型多機能性ナノゲル粒子の開発: 各種ペプチド薬物への適用と in vivo 吸収性の評価
(神戸学院大) 金 昌俊
14. Cryo-TEM 及び溶液 ^1H NMR 測定を用いた脂質ナノ粒子の pH 依存的な構造変化メカニズムの解明
(千葉大院) 酒川優泉
15. SARS-CoV-2 変異株に対する ACE2 デコイ吸入粉末剤の開発
(岐阜薬科大) 伊藤貴章
16. 新規 PEG-PLGA 共重合体 DDS による中高分子薬物の長期的な安定化と放出制御の試み
(東レ) 小野公佳

18:20-21:00 交流会

第2日目 10月31日(金)

8:30-10:00

一般講演【新製剤技術】

1. 連続混合造粒機「LaVortex G」を用いた医薬品原料の連続混合能力と装置内滞留時間の評価
(アーステクニカ) 小柳敬太
2. 未定
(CBC) 横浜重晴
3. オーダーメイド錠剤製造プロセスの設計と錠剤製造検証
(パウレック) 田辺和也
4. ウプトラビ錠小児用ミニタブレットの製剤開発
(日本新薬) 山田理恵
5. 乾式攪拌造粒・非晶質化法による適用可能な原薬の検証
(名城大) 近藤啓太
6. プロブコール-スタチン系共非晶質の保存安定性向上を目指した三成分系非晶質処方の設計
(愛知学院大) 大山晋司

一般講演【粒子設計のための素材、製剤プロセス】

7. 粉碎液組成の違いによるメフェナム酸ナノ結晶製剤に関する評価
(和歌山県立医大) 池田真由美
8. 固液気充填状態とポリビニルアルコール・アクリル酸・メタクリル酸メチル共重合体 (POVACOAT) (第3報)
(ファーマポリテック/大同化成工業) 植村俊信

10:00-10:15

休憩 (15分)

10:15-10:35

学術賞・技術賞 授賞式、受賞経緯発表

10:35-11:20

学術賞受賞講演

ニトロソアミンとの攻防 ～ 原因究明から実装に至る軌跡 ～

(東和薬品) 内川 治 氏

11:20-11:50	技術賞受賞講演 連続生産を用いた製剤開発 ～抗がん剤 2 製品の新薬製造販売承認取得～（仮） （エーザイ）市原 駿 氏
	連続生産による製剤製造技術の開発～ゾフルーザ®20mg 錠の製造法追加の一部変更承認取得 （シオノギファーマ）林 健太朗 氏
11:50-13:00	休憩及びパネル討論（70 分）
13:00-13:50	解説講演 ー小児製剤についてー 1. 小児医薬品のドラッグ・ロス問題解決への挑戦 ～国際的な薬事規制の変化とこれからの小児製剤～ （昭和医科大学）原田 努 氏 2. 小児製剤開発の現状と課題 ～製薬企業の立場から～ （EA ファーマ）杉浦大輔氏
13:50-15:50	一般講演【粒子設計のための素材、製剤プロセス】 9. 円錐型リボン混合機を用いたミニタブレットへの機能性付与と特性評価 （大原薬品工業）寺田浩人 10. 滑沢剤の粒子径と打錠・錠剤特性ー内部・外部滑沢への適用ー （菊水製作所）楨野 正 11. 時系列予測による商用プロセス安定稼働：粉体輸送工程を対象とした検討 （中外製薬工業）牛崎康太 12. 微小核粒子への粉末レイヤリング技術の実用化に向けた検討 （フロイント産業）佐藤綾香 一般講演【粒子物性の計測と評価】 13. 実生産における収率低下トラブルに対する各種粉体物性測定法による原因究明 （中外製薬工業）有馬陵汰 14. 医薬品用賦形剤と崩壊剤からなる混合粉体の動的粘弾特性 （静岡県立大）照喜名孝之 15. 応力緩和時間および圧縮速度が粉体層の弾性パラメータに及ぼす影響解 （大阪公立大）今吉優輔 16. 遠心転動における造粒過程と動的粘弾性の関連性 （静岡県立大）近藤 啓 17. 超高速 NIR 錠剤全数含量測定システムの開発統報 （東和薬品）中山幸治 18. 粒子形態情報を用いたスプレードライ顆粒の流動性予測モデルの構築と検証 （スペクトリウス）笹倉大督 19. インバースガスクロマトグラフィーによる添加剤の表面自由エネルギー測定 （中外製薬）吉岡 健
15:50-16:00	奨励賞 受賞者発表および表彰式
16:00-16:10	閉会の辞 粒子加工技術分科会 代表幹事 浅井直親 ※ 座長、タイムスケジュールは当日変更されることがあります